

2021年10月1日

住友生命保険相互会社

米州投資公社（IDB Invest）が発行する デカーボナイズーション・ボンドへの投資について

住友生命保険相互会社（取締役 代表執行役社長 高田 幸徳、以下「住友生命」）は、米州開発銀行（IDB）グループ傘下の米州投資公社（Inter-American Investment Corporation、以下「IDB Invest」）が発行する脱炭素への移行を支援するデカーボナイズーション・ボンド（以下「本債券」）への投資を決定しました。

IDB Invest は、ラテンアメリカおよびカリブ海諸国における民間企業への支援を通じて、同地域の経済発展に取り組む国際機関であり、同地域の経済・社会・環境面での発展を実現するために、持続可能なプロジェクトや企業に資金提供を行っています。

本債券は ICMA^{※1}のグリーンボンド原則、ソーシャルボンド原則およびサステナビリティボンド・ガイドラインに準拠した IDB Invest のサステナブル・デット・フレームワークに基づき発行されます。本債券による調達資金は、再生可能エネルギーの開発や管理、エネルギー効率の最適化、廃棄物および排水管理などラテンアメリカおよびカリブ海諸国における脱炭素への移行を支援する企業およびプロジェクトに充当されます。また、IDB グループは「Corporate Results Framework 2020-2023」において、グループの活動状況をモニタリングするための具体的な目標を定めています。その中で IDB Invest は、脱炭素化に貢献するため、2023 年まで毎年「気候関連ファイナンスの割合をファイナンス全体の 30% とすること」を目標として掲げており、本債券の発行はこの目標の達成に寄与するものです。



©IDB Invest

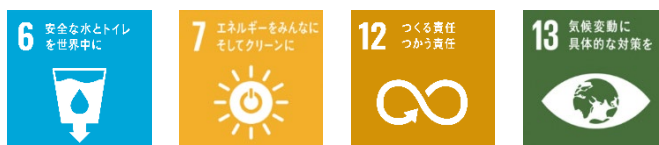
具体的には、チリにおける火力発電所の閉鎖を後押しするために、風力発電プロジェクト（施設の建設、運営等）を支援しています。チリには 28 の既存の火力発電所があり、現在発電電力量の約 35% を占めていますが、当プロジェクトにより 2 つの石炭火力発電所の閉鎖を前倒しすることで、4,880 トン以上の温室効果ガス削減の効果が期待されます。

※1 国際資本市場協会。国際債券市場にかかる自主規制団体。サステナブルファイナンスに関する基準等を策定・公表しています。

【本債券の概要】

発行体	米州投資公社 (Inter-American Investment Corporation)
投資金額	68百万豪ドル(約54億円)
期間	10年

【本件を通じて貢献すると想定される主な SDGs 項目】



住友生命は、「なくてはならない」生命保険会社の実現を目指し、事業活動を通じた SDGs の達成に向けた取組みを進めています。また、責任投資（ESG 投融資およびスチュワードシップ活動）をその主要な取組みの一つとして位置づけ、持続可能な社会の実現、および、中長期での投融資を行う機関投資家にとって運用収益の向上に資するとの認識の下、責任投資に取り組んでおり、本債券への投資はその一環として行うものです。

今後も、責任投資を通じ、持続可能な社会の実現に貢献していくとともに、運用収益の向上に取り組んでいきます。

以上